

はしがき

本誌では、毎年一回、皮膚科の臨床分野におけるトピックスを特集しておりますが、今回は「プライベートパーツ診療」をテーマとして取り上げました。

プライベートパーツの診療については、皮膚疾患に精通しているはずのベテラン医師でも、この領域の情報量は少なく、また神経を使った診療が必要なことから、苦手意識をもちやすいのではないかと思います。ましてや経験の少ない若手の医師は、よい教材が乏しいこともあって、より一層診療に困難さを覚えているのではないのでしょうか。

梅毒等の感染症の増加もあり、プライベートパーツ診療の重要性が増すなか、それに特化した教科書が待望されていると考え、特集の企画をたてた次第です。

今回は、ご専門の先生方に、プライベートパーツ診療に関わることについて、さまざまな視点からご教示いただいております。さらに、その前置きとして、感染症や腫瘍性疾患を中心とするアトラスを主として編集委員会で作成いたしました。

なお、プライベートパーツという言葉は、厳密に定義された医学用語とはいえませんが、ここではおおそ外陰部を中心として臀部まで含めた部分ということ意識してこの言葉を使うことにいたしました。本特集で使用する用語については、目次のあとに注釈を載せましたのでご参照ください。

エキスパートの先生方のご尽力により、大変貴重な書ができあがったと思っております。是非、お手にとっていただき、日常の診療にお役立ていただければ大変有難く存じます。

2024 年 6 月

「皮膚科の臨床」編集委員会

土田 哲也

五十嵐敦之

相馬 良直

林 伸和

佐伯 秀久